

令和5年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	芸術	科目	音楽 I	単位数	2	
年組	1年1, 2, 3組		教科書(発行所)	MOUSA I (教育芸術社)		
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点			項目
			知	思	態	
4	ポピュラー・ソング	○校歌 ○翼をください ○若者のすべて	○		○	学習の目標 歌唱、器楽、創作及び鑑賞についての幅広い活動を展開し、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばすことをねらいとし、「音楽Ⅱ」「総合音楽」における発展的な学習の基礎を養う。また、我が国及び諸外国の様々な音楽文化についての理解を深める。
5	西洋の音楽	○O sole mio	○	○	○	
6	鑑賞	○Caro mio ben ○モーツァルトの生涯と作品	○	○	○	
7			○		○	
7	日本の音楽	○日本の伝統音楽	○	○	○	
8	器楽	○篠笛	○	○	○	
9	西洋の音楽	○Heidenröslein ○Ich liebe dich	○	○	○	
10	創作	○オノマトペによる創作 ○「コード進行」をもとに創作	○	○	○	授業の進め方 中学校での学習内容を踏まえ、表現領域を「歌唱」「器楽」「創作」の三分野で構成し、表現領域全体を通じて創造的な表現力を高める。音楽に対する創造的な理解を深める観点から、表現領域の全ての分野と鑑賞領域を学習する。
11			○	○	○	
12			○	○	○	
12	合唱	○言わない	○	○	○	
1	歌唱	○卒業式の歌 ○この道	○	○	○	学習の方法 鑑賞では楽曲や演奏について根拠を持って批評する活動を取り入れ、言語活動の充実を図る。歌唱では楽曲の雰囲気や味わうために伴奏譜のついた楽譜を使用し、和声の変化を感じ取る。学習プリントを用いて授業を進める。
2			○	○	○	
3	1年間のまとめ	1年間の取り扱った教材	○	○	○	
【備考】 ※ 評価の観点は愛媛県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。						評価の観点 1 知識・技能 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性を理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 2 思考・判断・表現 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを甘受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもってたり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わったり聴いたりしている。 3 主体的に学習に取り組む態度 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
						評価の方法 1 課題・学習プリント 2 平常考査 3 平常学習態度 4 実技 5 出席状況

令和5年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	芸術	科目	美術 I	単位数	2			
年組	1年1, 2, 3組		教科書(発行所)	高校生の美術1(日本文教出版)				
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点			項目		
			知	思	態			
4	オリエンテーション 絵画 鑑賞	美術とは何か デッサン グラデーション デッサン 光と影	○	○	○	学習の目標 幅広い美術の制作や鑑賞を通して、自分だけのものの見方で世界を見つめ、「自分なりの答え」を生み出し、それを他人と共有して、新たな問いを生み出す力を養います。		
5		デッサン 立方体 色彩について	○	○	○			
6		平面構成 夏	○	○	○			
6		平面構成 冬	○	○	○			
7		鑑賞	鑑賞	○	○		○	
7		7	読書感想画とは アイデアスケッチ	○	○		○	アイデアスケッチや考えた過程を大切にしているので、ワークシートを重要視しています。各課題では、まずワークシートを描き、その後制作し、できあがった作品をクラスの全員で鑑賞します。
8		8	制作	○	○		○	
9	9	鑑賞	○	○	○			
10	彫刻	ジオラマとは 制作	○	○	○			
11	11	制作	○	○	○			
12	鑑賞	鑑賞	○	○	○			
12	デザイン	屏風とは デザイン化	○	○	○	授業態度や感想の記述で、主体的に学習に取り組む態度を評価します。各課題の前に先生から説明される作品の解説や、表現技法を理解できているかで、知識・技能を評価します。制作前に描くアイデアスケッチで、思考・判断・表現を評価します。		
1	1	アイデアスケッチ 制作	○	○	○			
2	2	制作	○	○	○			
3	鑑賞	鑑賞	○	○	○			
【備考】 ※ 評価の観点は愛媛県県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。						授業の進め方 学習の方法 突然自分だけの表現をすることは、とても難しいので、制作に入る前に、たくさんの資料を準備しましょう。そこから自分の考えを深め、自分だけの表現活動へつなげていきます。普段生活する上でも興味のアナテナを広げましょう。 評価の観点 授業態度や感想の記述で、主体的に学習に取り組む態度を評価します。各課題の前に先生から説明される作品の解説や、表現技法を理解できているかで、知識・技能を評価します。制作前に描くアイデアスケッチで、思考・判断・表現を評価します。 評価の方法 1 課題・学習プリント 2 平常学習態度 3 実技 4 出席状況		

令和5年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科		科目	音楽Ⅱ	単位数	2		
年組	2年 1・2組		教科書(発行所)	MOUSAⅡ(教育芸術社)			
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点			項目	
			知	思	態		
4	ポップス	○Prelude I	○			学習の目標 「音楽Ⅰ」の学習を基礎にして、個々の能力・適性、興味・関心等に応じた活動を展開し、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばすことをねらいとする。文化的・歴史的背景などの広い視野をもって音楽に目を向け、个性的・主体的な活動を充実し、音楽文化の理解を深める。	
5	日本の歌曲	○ハナミズキ ○浜辺の歌	○	○	○		
6	器楽アンサンブル	○ギター ○上を向いて歩こう	○	○	○		
7			○				
7	創作	○演奏スタイルの変化	○				グループごとに関心や能力に応じた楽曲を選択してアンサンブルを行う。創作については音の組み合わせ方などを自らが見つけようとするなど、生徒の創意工夫を一層重視した学習を行う。
8			○				
9	鑑賞	○レ・ミゼラブル	○		○		
10	合唱	○夢やぶれて	○		○		
11	日本の音楽	○人形浄瑠璃	○		○		
12			○			学習の方法 発声や楽器の発音原理について考えたり音楽表現にどのような効果を生み出しているかを話し合うなどして、主体的な鑑賞の活動にする。感じ取ったことを基にして、作詞者や作曲者の意図を考えながら解釈し、それを他者と伝え合うことによって楽曲固有の表情や味わいに対する理解を深める。	
						評価の観点 1 音楽への関心・意欲・態度 音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。 2 音楽表現の創意工夫 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、創造的な表現の構想を練っている。 3 音楽表現の工夫 創意工夫を生かした音楽表現するための技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。 4 鑑賞の能力 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽文化に対する理解を深め、良さや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。	
12	器楽	○篠笛	○			評価の方法 1 課題・学習プリント 2 平常考査 3 平常学習態度 4 実技 5 出席状況	
1	歌唱	○卒業式の歌	○		○		
2			○		○		
3	1年間のまとめ	1年間の取り扱った教材	○		○		
【備考】 ※ 評価の観点は愛媛県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。							

令和5年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	芸術	科目	音楽表現	単位数	2					
年組	3年 2組		教科書(発行所)	音楽通論(教育芸術社)						
月	学習内容		学習の具体的な内容	評価の観点					項目	
4	楽典		○楽典	○						学習の目標 「音楽Ⅰ」及び「音楽Ⅱ」の学習を基にして、さらに生徒の能力・適性、興味・関心等に応じた活動を展開し、個性豊かな音楽の能力を高める。また、我が国や諸外国の様々な音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き個性豊かな音楽の能力を高める。
5	ソルフェージュ		○譜表、リズムと拍子	○						
6			○聴音、楽典	○						
7				○						
7			○音程と音階、和音、表示法 ○形式、聴音、楽典	○						
8	器楽演奏		○形式、聴音、楽典	○						
9			○個人別課題		○	○	○	○	○	
10			○個人別課題		○	○	○	○	○	
11			○個人別課題		○	○	○	○	○	
12			○個人別課題		○	○	○	○	○	
12	器楽演奏		○個人別課題		○	○	○	○	○	学習の方法 一人ひとりに応じた多様な活動を設定する。器楽・歌唱では個々の生徒の特性やグループの規模・形態等に合った教材を生徒に選択させ、個性的・創造的な活動が出来るようにする。生徒が主体的に課題に取り組む活動を重視する。音楽の構造上の特徴と美しさの関わりを理解して鑑賞する。
1			○個人別課題		○	○	○	○	○	
2			○個人別課題		○	○	○	○	○	
3			○個人別課題		○	○	○	○	○	
【備考】 ※ 評価の観点は愛媛県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。										
評価の観点 1 音楽への関心・意欲・態度 音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。 2 音楽表現の創意工夫 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、音楽表現を工夫し、創造的な表現の構想を練っている。 3 音楽表現の工夫 創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。 4 鑑賞の能力 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽文化に対する理解を深め、良さや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。										
評価の方法 1 課題・学習プリント 2 平常考査 3 平常学習態度 4 実技 5 出席状況										

令和5年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2		
年組	3年 2組		教科書(発行所)	MOUSAⅡ(教育芸術社)			
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点				項目
			関	思	技	知	
4	楽典	○楽典	○			○	学習の目標 音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。 授業の進め方 1 歌唱・器楽・創作 ア 楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌い、演奏し、創る。 イ 様々な表現形態による歌唱の特徴を理解し、表現上の効果を生かして歌い、演奏し、創る。 2 鑑賞 ア 音楽の構造上の特徴と美しさのかかわりを理解して鑑賞すること。 イ 現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞すること。 ウ 音楽と他の芸術や文化との関わりを理解して鑑賞すること。 エ 生活および社会における音楽や音楽にかかわる人々の役割を理解して鑑賞すること。
5	西洋の音楽	○イタリア歌曲	○			○	
6	器楽	○ギター				○	
7	1学期のまとめ	○実技表現テスト				○	
7	鑑賞	○ベートーヴェンの生涯と作品	○			○	
8	音楽史					○	
9	世界の音楽	○諸民族の音楽	○			○	
10	器楽	○篠笛				○	
10	西洋の音楽	○ドイツ歌曲	○			○	
11	創作					○	
11	2学期のまとめ	○実技表現テスト				○	
12							
12	歌唱	○卒業式の歌	○			○	学習の方法 上記の「授業の進め方」に従い学習していくが、生徒の特性を十分に考慮して授業を行う。また、音楽系の進学希望者の進路実現のために進学希望先の内容に即した実技、授業を行う。 評価の観点 1 音楽表現への関心・意欲・態度 音楽や音楽文化を尊重し、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。 2 音楽表現の創意工夫 音楽を形づくっている要素を知覚し、感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 3 音楽表現の技能 創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。 4 鑑賞の能力 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
1	1年間のまとめ	○実技表現テスト	○			○	
2							
3							
【備考】 ※ 評価の観点は愛媛県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。						評価の方法 1 課題・学習プリント 2 平常考査 3 平常学習態度 4 実技 5 出席状況	

令和5年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	2				
年組	3年 2組		教科書(発行所)	高校生の美術2(日本文教出版)					
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点				項目		
			関	思	技	知			
4	オリエンテーション 絵画 鑑賞	表現とは何か 質感を捉えて描く 質感の技法練習 アイデアスケッチ 制作 鑑賞	○	○			学習の目標 美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。 授業の進め方 表現と鑑賞の領域について基礎的な内容を中心に学習する。具体的な学習内容については表現領域を絵画、版画、立体造形、彫塑、デザインといった分野から構成する。鑑賞領域については表現と鑑賞の有機的な連関を意識し、表現の学習内容に合わせた鑑賞題材を設定する。 学習の方法 上記の「授業の進め方」に従い学習していくが、生徒の特性や美術Ⅰとの関連を十分に考慮して制作していく。また、感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現と、目的や機能などを考えた表現の学習が調和的に行えるようにする。 評価の観点 1 美術への関心・意欲・態度 美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 2 発想や構想の能力 感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 3 創造的な技能 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。 4 鑑賞の能力 美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 評価の方法 1 課題・学習プリント 2 平常学習態度 3 実技 4 出席状況		
5			○	○					
6			○	○					
7			○	○					
7			絵画・版画	版画とは アイデアスケッチ 下描き 彫り 刷り	○	○			
8					○	○			
9					○	○			
10	○	○							
11	○	○							
12	鑑賞	鑑賞	○	○					
12	デザイン	オリジナル卒業アルバム アイデアスケッチ 制作 鑑賞	○	○					
1			○	○					
2			○	○					
3			○	○					
【備考】 ※ 評価の観点は愛媛県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。									

令和5年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	芸術	科目	美術表現	単位数	2			
年組	3年 2組		教科書(発行所)	表現と鑑賞(開隆堂)				
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点				項目	
			関	思	技	知		
4	オリエンテーション 絵画	美術とは何か 現代版鳥獣人物戯画 アイデアスケッチ	○	○	○	○	学習の目標 美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。 授業の進め方	
5		ストーリー			○	○		
6		練習			○	○		
		制作			○	○		
7		鑑賞		○	○	○		
7		絵画	水彩技法 練習			○		○
8	校舎を描く 写真撮影 下書き		○	○	○	○		
9	着色				○	○		
					○	○		
10					○	○		
11	鑑賞	鑑賞	○	○	○	○	上記の「授業の進め方」に従い学習していくが、生徒の特性や目的との関連を十分に考慮して制作していく。また、感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現と、目的や機能などを考えた表現の学習が調和的に行えるようにする。 評価の観点	
12								
12	デザイン 鑑賞	パッケージデザインとは アイデアスケッチ 制作	○		○	○	1 美術への関心・意欲・態度 美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 2 発想や構想の能力 感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 3 創造的な技能 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。 4 鑑賞の能力 美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 評価の方法	
1		鑑賞	○		○	○		
2								
3								
【備考】 ※ 評価の観点は愛媛県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。								
1 課題・学習プリント 2 平常学習態度 3 実技 4 出席状況								